

## 第10回京北地域小中一貫教育校検討協議会摘録

- 日時 平成30年6月15日(金) 19:30~20:45
- 場所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 検討協議会メンバー23名(1名欠席), オブザーバー4名(右京区役所京北出張所長, 周山保育所長, ひかり保育所長, 弓削保育所長), 事務局及び関係職員等22名
- 傍聴者 3名
- 配布資料 **資料1** 平成30年度 京北地域小中一貫教育校検討協議会名簿  
**資料2** 第9回(3月13日)の協議内容  
**資料3** 京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置等について  
**資料4** 平成30年度 京北地域小中一貫教育校創設に係る取組予定等について(案)  
**資料5-1** 京北地域小中一貫教育校「校名案」募集のお知らせ  
**資料5-2** 京北地域小中一貫教育校「校名案」応募用紙  
**資料5-3** 京北地域小中一貫教育校の校名案検討に係る取組予定(案)  
**資料6** 施設整備に係る工事スケジュール(想定)  
**資料7** 通学安全に係る登校シミュレーションの実施について

### □議事要旨

#### 1 開会

#### 2 検討協議会構成について

**資料1**の検討協議会名簿に基づき自己紹介が行われ,今年度,京北自治振興会役員及び6自治会役員,PTA役員の交代,並びに学校の人事異動により新たに参画されるメンバーを確認した。

また,今回,オブザーバーとして参画された右京区役所京北出張所長,周山保育所長,ひかり保育所長,弓削保育所長の自己紹介が行われた。

#### <確認・決定事項>

- 検討協議会副代表であった海老瀬篤司 前京北自治振興会副会長・勝山正昭 前周山自治会長の退任に伴う新たな副代表の選出にあたって,出席者から,岡本洋志 京北自治振興会副会長と高乗政廣 弓削自治会会長を推薦する声上がり,特に異論なく推薦のとおり選出された。

#### 3 前回の協議内容の確認

前回の協議内容について,**資料2**に基づき,教育委員会から説明を行い,確認された。

#### 4 京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置等について

#### <説明>

京北地域小中一貫教育校教育企画推進室の設置と新校における教育構想案について,**資料3**に基づき,教育委員会から説明を行った。

#### <質疑応答>

- 新校に対する地域・保護者の期待や想いを十分くみ取っていただき、新しい教育構想に活かして頂きたい。
- 京北地域において、施設一体型小中一貫教育校が開校して良かったと地域・保護者に実感してもらえるよう取組を進めて頂きたい。京北第一小の算数に係る教育実践など、各校のこれまで取り組んできた教育実践の良い財産を、新校の教育構想に活かしてほしい。
- (教育委員会) これまで培ってきた京北地域の学校の良い財産を活かしながら、地域・保護者の皆様の想いに応える教育構想となるようしっかりと取り組んでいく。
- 京北町時代、各学年の担任教員は、毎年必ず1回は研究授業を行っていた。教員の指導力が益々問われてくるなかで、小・中学校教員が共に研究授業の実践を通して、しっかりと力量を高めることが重要である。
- 京北では、課題を持った子どもに関して、保育所から小学校、中学校と課題を共有しながら継続的な指導・支援を行い、北桑田高校へとつなげることができる体制が整っており、この環境を活かした取組を推進して頂きたい。
- (教育委員会) 施設一体型である条件を活かし、研究授業等を通して小・中学校教員が学び合い、教員の力量を高めるとともに、京北ならではの強みを最大限活かした教育構想、校種間のつながりを更に深める取組を検討していく。
- (周山中学校長) この教育構想案は、教育課程等に係る最新の情報を踏まえ提案されているものである。地域創生力を高める観点を踏まえ、自己の生き方を創造する取組の一つである周山中学校の今年度の「立志式」の取組等も充実させていきたい。学校現場と教育企画推進室がしっかりと連携し、より良い教育構想を作り上げていきたい。また、今年度、3小学校教員が同じテーマで研究授業に取り組み、そこに周山中学校教員も参加するなど、新校を見据えた取組を始めている。

#### <確認・決定事項>

- 義務教育9年間の一貫した教育方針(4・3・2のステージ制)のもと、「確かな学力」(知)・「豊かな心」(徳)・「健やかな体」(体)を育成するとともに、多くの児童生徒の中で切磋琢磨し、さらに資質・能力の伸長を目指す。京北地域から未来を担い、グローバル社会を切り拓く子どもを育成するための教育構想の策定に向けて、京北地域小中一貫教育校教育企画推進室が京北地域4小中学校と連携して取組を進めていく。

#### 5 平成30年度 京北地域小中一貫教育校創設に係る取組予定等について

##### <説明>

平成30年度の京北地域小中一貫教育校創設に向けた取組予定等について、資料4に基づき、教育委員会から説明を行った。

- 今年度、本日を含め、計4回の検討協議会の開催を予定している。検討協議会では、新校の校名案の選定のほか、施設整備、通学安全に係る取組状況や、教育構想検討に係る進ちょく状況の確認、「4小中学校PTA会長会」の取組(PTA組織・規約の検討等)状況の報告を行う。また、平成31年度は、校歌・校章等について検討・協議を行う予定。

- 小中一貫教育校の開校を見据えて、今年度も3小学校による合同学習の取組や、周山中学校での4小中学校9学年の合同学習を予定し、開校後の姿の見える化を図り、地域住民や保護者に小中一貫教育の在り方について理解を深めて頂けるよう取組を進める。

<質疑応答>

なし

<確認・決定事項>

京北地域小中一貫教育校創設に向け、平成30年度は資料4のとおり取組を進めることとする。

6 校名案の公募方法について

<説明>

校名案の募集方法及び校名案検討に係る取組予定について、資料5-1~3に基づき、教育委員会から説明を行った。

<質疑応答>

なし

<確認・決定事項>

- 校名案の募集方法は資料5-1及び資料5-2のとおりとし、当該資料を7月10日（火）から全戸配布する。（8月31日（金）募集締切）
- 校名案検討に係る取組スケジュールは、資料5-3のとおりとする。
- 第11回検討協議会（9月開催予定）において、応募結果を基に校名候補案を一定数に絞り込み、当該校名候補案を基に、学識経験者に意味付け・根拠を示した複数の校名候補案の検討を依頼する。第12回検討協議会（11月開催予定）において、学識経験者による検討結果（複数の校名候補案）を踏まえ協議し、地元校名案を最終決定のうえ、12月頃に教育委員会へ「校名要望書」を提出予定とする。

7 施設整備について

<説明>

施設整備の当面のスケジュールについて、資料6に基づき、教育委員会から説明を行った。

- 施設整備に係るスケジュールに関して、前回の検討協議会における報告から変更はない。
- 周山中学校敷地内の埋蔵文化財発掘調査において、周山廃寺の西堂の礎石が確認されたり、瓦が発掘されている。発掘調査を行っている埋蔵文化財研究所の主催で、7月1日（日）に市民を対象に現地説明会が開催される。説明会開催案内が、今月全戸配布される。
- 新校舎の建設工事に先立ち、7月末頃から正面ロータリーの造成工事及び新校舎南側の法面整備工事、新校舎北側の土木工事等を行っていく。（資料6の工事範囲図において、「法面对策工事①・敷地造成工事①」及び「敷地造成工事②」の部分が7月末頃から着工予定、「法面对策工事②」の部分が10月頃から着工予定）

- 当該工事の着工にあたり、7月中・下旬頃に工事現場の近隣住民の方々を対象とした工事説明会を開催させて頂く予定。

<質疑応答>

- 子どもたちに貴重な埋蔵文化財発掘調査の現場を見学させる機会を設けるのか。  
→ (周山中学校長) 周山中学校は、各学年において、埋蔵文化財研究所による特別授業を行っていただいた。小学校は、現段階では企画していない。
- 工事説明会は、どのエリアの方々を対象に行うつもりなのか。  
→ (教育委員会) 前回、京北ふれあいセンター(元周山小)等解体撤去工事のお知らせを配布させて頂いた近隣住民の方々を対象にすることを想定しているが、今後、改めて、周山自治会長にご相談させて頂く。

<確認・決定事項>

- 施設整備に係る工事は、**資料6**のスケジュールを基に進めていく。

## 8 通学安全に係る登校シミュレーションの実施について

<説明>

通学安全に係る登校シミュレーションの実施について、**資料7**に基づき、教育委員会から説明を行った。

- (周山中学校長) シミュレーションという名称から、難しいことをするイメージがあるが、普段中学生が通学しているバスに小学生も乗車するということである。新たに乗車する児童が安心して登校できるよう、中学生にも乗車マナー等を事前指導していきたい。

<質疑応答>

なし

<確認・決定事項>

- 京北第一小学校で実施する合同学習の機会を活用し、今年度、計3回(7月11日(水)、10月19日(金)、来年1月18日(金))の通学シミュレーションを実施する。また、必要に応じて、その他の日程においても実施を検討する。
- 7月11日(水)の第1回目においては、京北第一小学校児童は、普段の登校と同じとし、京北第二小学校児童は、地区に応じてスクールバスと路線バス(灰屋線)に乗車、京北第三小学校児童は、地区に応じて2つの路線バス(弓削線・田貫線)に乗車し、京北第一小学校まで登校することとする。周山中学校生徒は、黒田地区の生徒はスクールバスに乗車、「下中」から路線バスに乗車している生徒は、弓削線の路線バスに乗車することとし、その他の生徒は普段の登校と同じ方法とする。
- 京北第二小学校の「下地区」の児童については、新校ではバス通学することを基本としているが、この間、学校及び保護者の方々と協議し、該当地区の保護者を対象として、今回の登校シミュレーションの結果も踏まえて、徒歩通学も選択肢の一つとして通学方法に係るご意見を

お聞きしたうえで、通学方法を検討する。

## 9 その他

### <報告>

新校のPTA組織・規約について、今年度、「4小中学校PTA会長会」において検討していくことを、周山中学校長から報告を行った。

7月11日（水）に第1回会議を開催する予定。

## 10 次回の開催について

第11回検討協議会は9月下旬頃に開催する。日程等が決まれば、案内文を配布する。